

2009 AUTOBACS SUPER GT 第9戦 MOTEGI GT 250km RACE

2009年11月7日(土)~11月8日(日)

PREVIEW

2009 AUTOBACS SUPER GT シリーズも いよいよ最終戦を迎える。

300 クラスシリーズタイトルの行方は、前戦までの熾烈な戦いの中、いよいよ上位 6 台にまで絞られた。今回の最終戦では、シーズンフルで出場したドライバーの乗るマシンは、ウェイトハンデがゼロとなる。当然上位 6 台のマシンは全てウェイトハンデゼロ、シリーズチャンピオンをかけた、まさにガチンコ勝負が繰り広げられることとなる。中でもランキングトップの 19 号車 IS350 は、昨年この茂木で優勝、ランキング 4 位の 7 号車 RX7 を駆る谷口選手も 2007 年に優勝(マシンはポルシェ)、そしてここ 2 戦連続して表彰台に上るランキング 3 位 11 号車フェラーリも 2006 年度に優勝と、上位陣各々この茂木との相性は悪くない。この 3 台に、毎年後あと一歩のところまでシリーズチャンピオンを逃していた 43 号車ガライヤ、そして 2 号車紫電がどう絡んでいくのか、そして首の皮 1 枚で、タイトル争いに残るディフェンディングチャンピオン 46 号車 Z の走り、見所は盛り沢山だ。

上位陣が熾烈なタイトル争いをするなか、今シーズン後半戦から出場となった 62 号車「R&D SPORT レガシーB4」は、残念ながらチャンピオン争いにポイントランキングで加わることはない。

8 月のデビュー戦鈴鹿ではマシントラブルから決勝キャンセル、9 月の富士でやっとレースデビューできたが、まだまだ開発途中の「R&D SPORT レガシーB4」。



「R&D SPORT レガシーB4」は、熟成された上位陣のマシンに対し、まだまだ、日々成長、進化途中のマシンである。10 月の大分をキャンセルし、厚木のファクトリーで最終戦モテギに照準を合わせたマシンの更なる開発が進められた。

やれることがいっぱいある、伸びしろも沢山ある。富士から 2 ヶ月足らずとは言え、伸びしろをどこまで伸ばすことが出来たか、その成果がここ茂木で披露されることとなる。



■ 本島監督 コメント



9月の富士から最終戦もてぎに向けて、富士でテストもしましたし車両に対して出来る限りの対策はして来ました。しかしまだまだデータが少なく土曜日曜二日のレースは私たちにとっては非常に不利な状況です。かと言ってそんなことばかり言ってられないので後はチーム力を出し切り、今回も応援に来てくださる沢山のスバルファンの方々のご期待に答えられるよう頑張ります！

そしてここ茂木といえば、R&D SPORT にとって決して相性も悪くない。

マシンこそ異なるが、去年は予選 3 位、一昨年は決勝 2 位、そしてその前も決勝 3 位と常に上位に食い込んでいる。

レースは最後まで何が起こるかわからない、勝つためには相性や運も重要である。

もしかすると、チャンピオン争いする 6 チームにとって、大きな鍵を握る 1 台となるかもしれない。最終戦モテギ、上位陣に混じりサーキットを走り抜ける「R&D SPORT レガシーB4」の勇姿を、SUPER GT ファンに見せつけてくれることを期待したい。



2009 年 11 月 2 日
SUBARU LEGACY B4
TEAM アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>

